



シカと車の



衝突事故に注意してください！

シカと車の衝突事故は、ほとんど夜に起こる

シカは本来、薄明薄暮性(日の出前と日没直後に活動的になる)の動物ですが、ハンターなどの人間がいない夜間をメインに活動するシカが多いからです。

ヘッドライトの光を見ると硬直するシカが多い

道路上でシカが固まってしまっていたら、人間側が減速するしかありません。その場の道路状況などを判断しつつ、徐行で通り過ぎるなどの対処をしてください。



シカとの事故に遭わないための運転

◆飛び出し注意の道路標識がある場所では、スピードを出さずに減速する

シカ飛び出し注意の道路標識が設置されている場所は、過去にシカと車の接触事故が発生した場所である確率が高いです。

シカが横断する確率が高いので、減速して通過しましょう。

◆夜間、光るものが視界に入ったら徐行する

シカの目はヘッドライトの光を反射してよく光ります。

運転中に何か光るものが目に入ったら「シカかもしれない」と思って、すぐに減速しましょう。

◆クラクションを鳴らすのは逆効果

クラクションの音に驚いたシカが道路上に立ち尽くしてしまい、車と衝突してしまうこともあるので、出来ればクラクションは鳴らさない方が良いでしょう。

◆群れで行動する生き物。1頭飛び出して来たら4~5頭は出てくる可能性あり

シカを避けて安心していたら、草むらの中から別のシカが出てきた！ということはよくあります。1頭いたらその近くに群れがあることを想定して運転しましょう。